

旭川大学をベースとした公立大学の  
設置に関するアンケート調査結果  
(進路指導担当教員アンケート)

平成 3 0 年 2 月

旭川市総合政策部政策調整課

## 目 次

### I 調査概要

1	目的	1
2	調査項目	1
3	対象者	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回収結果	1
7	調査結果の表し方	1

### II 調査項目別分析

1	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況について	2
2	旭川大学をベースにした公立大学の設置について	3
3	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について	4
4	旭川に公立大学が設置された場合に期待することについて	5
5	あった方が良くと考えられる大学等の学部・学科について	6
6	ものづくり系学部の案について	7
7	意見等	10

### III アンケート調査票

1	前文	13
2	添付資料	14
3	調査票	16

## I 調査概要

### 1 調査目的

旭川大学をベースとした公立大学の設置について検討を進めるに当たり、市内全日制高校の進路指導担当教員の意見を把握するために実施した。

### 2 調査項目

Q 1	性別
Q 2	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況について
Q 3	旭川大学をベースにした公立大学の設置について
Q 4	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について
Q 5	旭川に公立大学が設置された場合に期待することについて
Q 6	あった方が良くと考えられる大学等の学部・学科について
Q 7	ものづくり系学部の案について
Q 8	意見等

### 3 対象者

旭川市内の高校に在籍する全日制高校の進路指導担当教員

### 4 調査方法

各高校が調査票を調査対象教員に配布し、アンケート調査を行った。

高校ごとにとりまとめた調査票を政策調整課が回収し、集計する方法で実施した。

### 5 調査期間

平成29年11月28日～12月22日

### 6 回収結果

性別	合計
男性	53
女性	10
未記入	6
合計	69

### 7 調査結果の表し方

- ・ 回答率 (%) の母数は、その調査項目に該当する回答者数 (=N) である。
- ・ 未記入の人数は、調査項目ごとの未記入の数であるので、合計は全体と一致しない場合がある。
- ・ 百分率は少数第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示しているため、回答率の合計が 100.0% にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問では、回答率の合計が 100.0% を超える場合がある。

## II 調査項目別分析

### 1 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況

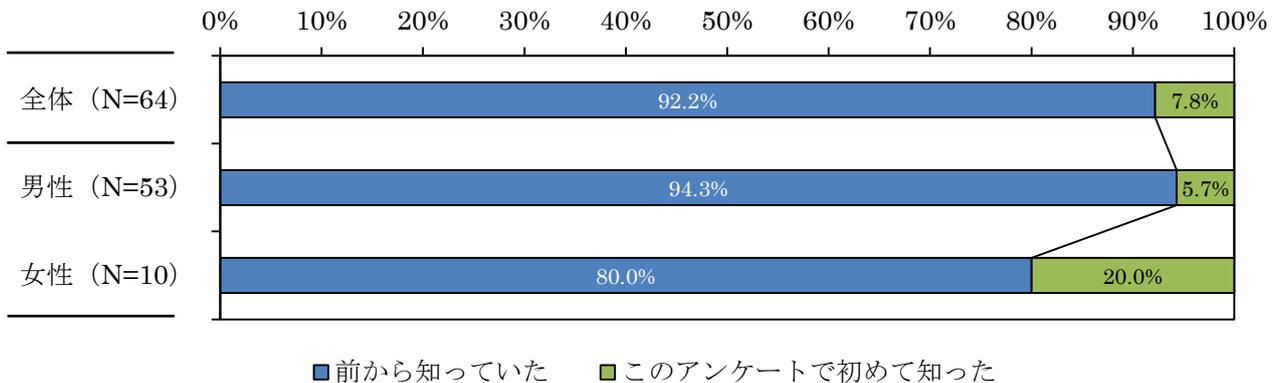
Q 2 市が旭川大学をベースにした公立大学の設置を検討していることをご存知でしたか。

旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況の回答については、「前から知っていた」が59人(92.2%)、「このアンケートで初めて知った」が5人(7.8%)と、ほとんどの教員が「前から知っていた」を選択した結果であった。

#### 【集計結果】

表Ⅱ－1 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況（単位：人）

市の検討状況		男性		女性		未記入		合計	
1	前から知っていた	50	94.3%	8	80.0%	1	100.0%	59	92.2%
2	このアンケートで初めて知った	3	5.7%	2	20.0%	0	0.0%	5	7.8%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		5	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ－1 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況

## 2 旭川大学をベースにした公立大学の設置について

Q 3 旭川大学をベースにした公立大学の設置についてどう思いますか。

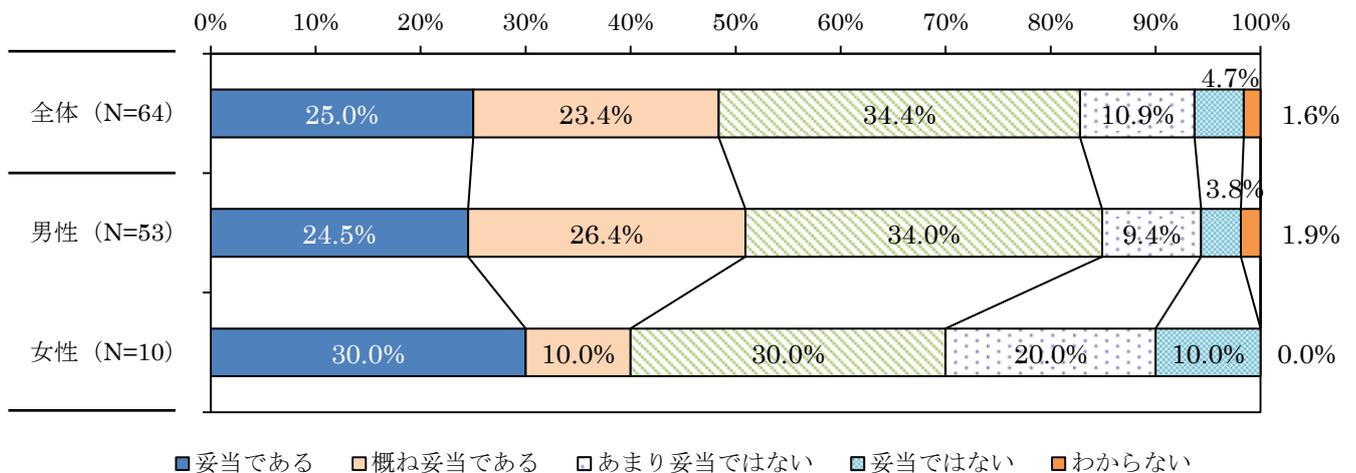
旭川大学をベースにした公立大学の設置についての回答については、「妥当である」が 16 人 (25.0%) で、「概ね妥当である」が 15 人 (23.4%) であった。

一方、「妥当ではない」は 3 人 (4.7%)、「あまり妥当ではない」は 7 人 (10.9%) であった。  
 なお、「どちらともいえない」は 22 人 (34.4%) であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ－２ 旭川大学をベースにした公立大学の設置について（単位：人）

公立大学の設置について		男性		女性		未記入		合計	
1	妥当である	13	24.5%	3	30.0%	0	0.0%	16	25.0%
2	概ね妥当である	14	26.4%	1	10.0%	0	0.0%	15	23.4%
3	どちらともいえない	18	34.0%	3	30.0%	1	100.0%	22	34.4%
4	あまり妥当ではない	5	9.4%	2	20.0%	0	0.0%	7	10.9%
5	妥当ではない	2	3.8%	1	10.0%	0	0.0%	3	4.7%
6	わからない	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		0	
合計		53		10		6		69	



図Ⅱ－２ 旭川大学をベースにした公立大学の設置について

### 3 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について

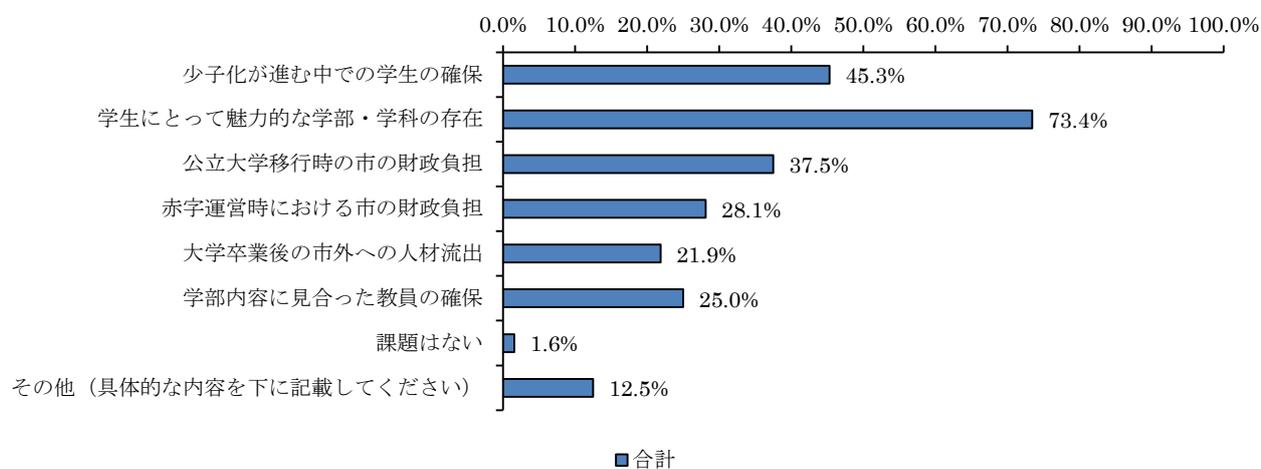
Q 4 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関しての課題は何だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。

旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題についての回答については、「学生にとって魅力的な学部・学科の存在」が47人（73.4%）と最も多く、次いで「少子化が進む中での学生の確保」が29人（45.3%）、「公立大学移行時の市の財政負担」が24人（37.5%）の順であった。

#### 【集計結果】

表Ⅱ－3 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について（単位：人）

公立大学の設置に関する課題		男性		女性		未記入		合計	
1	少子化が進む中での学生の確保	20	37.7%	8	80.0%	1	100.0%	29	45.3%
2	学生にとって魅力的な学部・学科の存在	42	79.2%	5	50.0%	0	0.0%	47	73.4%
3	公立大学移行時の市の財政負担	18	34.0%	5	50.0%	1	100.0%	24	37.5%
4	赤字運営時における市の財政負担	15	28.3%	3	30.0%	0	0.0%	18	28.1%
5	大学卒業後の市外への人材流出	12	22.6%	1	10.0%	1	100.0%	14	21.9%
6	学部内容に見合った教員の確保	14	26.4%	2	20.0%	0	0.0%	16	25.0%
7	課題はない	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
8	その他（具体的な内容を下に記載してください）	6	11.3%	2	20.0%	0	0.0%	8	12.5%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		5	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ－3 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について

#### 4 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること

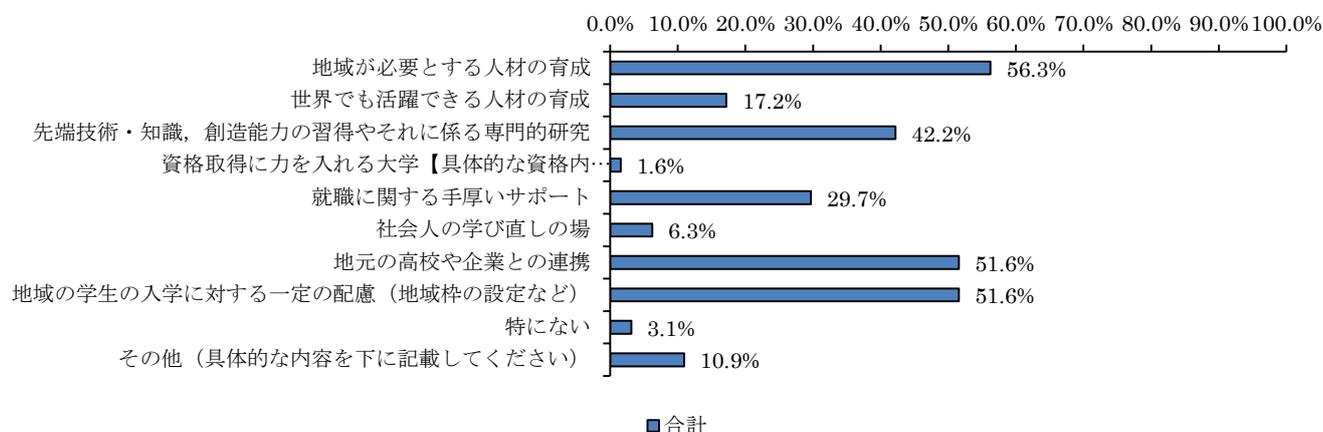
Q 5 旭川に公立大学が設置された場合、何を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

旭川に公立大学が設置された場合に期待することの回答については、「地域が必要とする人材の育成」が 36 人（56.3%）と最も多く、次いで「地元の高校や企業との連携」及び「地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）」が 33 人（51.6%）、「先端技術・知識，創造能力の習得やそれに係る専門的研究」が 27 人（42.2%）の順であった。

#### 【集計結果】

表Ⅱ－4 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること（単位：人）

公立大学に期待すること		男性		女性		未記入		合計	
1	地域が必要とする人材の育成	28	52.8%	7	70.0%	1	100.0%	36	56.3%
2	世界でも活躍できる人材の育成	9	17.0%	2	20.0%	0	0.0%	11	17.2%
3	先端技術・知識，創造能力の習得やそれに係る専門的研究	23	43.4%	4	40.0%	0	0.0%	27	42.2%
4	資格取得に力を入れる大学【具体的な資格内容： 】	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
5	就職に関する手厚いサポート	13	24.5%	5	50.0%	1	100.0%	19	29.7%
6	社会人の学び直しの場合	3	5.7%	1	10.0%	0	0.0%	4	6.3%
7	地元の高校や企業との連携	28	52.8%	4	40.0%	1	100.0%	33	51.6%
8	地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）	30	56.6%	3	30.0%	0	0.0%	33	51.6%
9	特になし	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
10	その他（具体的な内容を下に記載してください）	6	11.3%	1	10.0%	0	0.0%	7	10.9%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		5	
合計		53		10		6		69	



図Ⅱ－4 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること

## 5 あった方が良いと考えられる大学等の学部・学科

Q 6 旭川に公立大学が設置された場合、あった方が良く考えられる学部・学科について3つまでお答えください。

あった方が良く考えられる学部・学科の回答については、「看護学」が24人(42.9%)、「経済・経営学」が17人(30.4%)、「保健・医療・介護」が14人(25.0%)の順であった。

表Ⅱ-5 あった方が良く考えられる大学等の学部・学科(単位:人)

	あった方が良い学部・学科	男性		女性		未記入		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	文学・史学	4	8.7%	0	0.0%	0	-	4	7.1%
2	法律・政治・行政	4	8.7%	3	30.0%	0	-	7	12.5%
3	経済・経営学	15	32.6%	2	20.0%	0	-	17	30.4%
4	心理学・哲学	5	10.9%	2	20.0%	0	-	7	12.5%
5	外国語・国際関係学	9	19.6%	3	30.0%	0	-	12	21.4%
6	社会学・社会福祉学	4	8.7%	1	10.0%	0	-	5	8.9%
7	教育学	3	6.5%	0	0.0%	0	-	3	5.4%
8	理学	5	10.9%	0	0.0%	0	-	5	8.9%
9	工学	6	13.0%	1	10.0%	0	-	7	12.5%
10	情報科学・情報工学	8	17.4%	3	30.0%	0	-	11	19.6%
11	環境学	4	8.7%	1	10.0%	0	-	5	8.9%
12	農学	7	15.2%	0	0.0%	0	-	7	12.5%
13	獣医学	1	2.2%	0	0.0%	0	-	1	1.8%
14	畜産学	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
15	医学	1	2.2%	0	0.0%	0	-	1	1.8%
16	歯学	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
17	薬学	3	6.5%	1	10.0%	0	-	4	7.1%
18	看護学	19	41.3%	5	50.0%	0	-	24	42.9%
19	保健・医療・介護	14	30.4%	0	0.0%	0	-	14	25.0%
20	食物・栄養学	7	15.2%	2	20.0%	0	-	9	16.1%
21	芸術・美術	4	8.7%	2	20.0%	0	-	6	10.7%
22	その他(具体的に )	3	6.5%	0	0.0%	0	-	3	5.4%
回答者数		46	100.0%	10	100.0%	0	-	56	100.0%
未記入		7		0		6		13	
合計		53		10		6		69	

## 6 ものづくり系学部の案

Q7 現在、市が検討している別紙のものづくり系学部の案についてどう思いますか。

ものづくり系学部の案についての回答については、「良い」が9人（14.8%）で、「概ね良い」が13人（21.3%）であった。

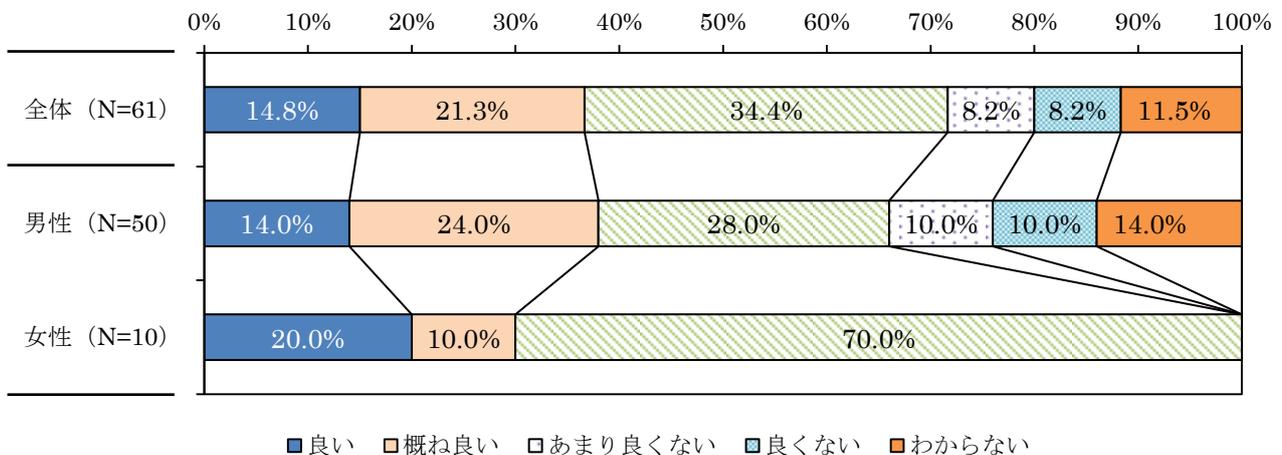
一方、「良くない」及び「あまり良くない」はいずれも5人（8.2%）であった。

なお、「どちらともいえない」は21人（34.4%）であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ-6 ものづくり系学部の案について（単位：人）

ものづくり系学部の案		男性		女性		未記入		合計	
1	良い	7	14.0%	2	20.0%	0	0.0%	9	14.8%
2	概ね良い	12	24.0%	1	10.0%	0	0.0%	13	21.3%
3	どちらとも言えない	14	28.0%	7	70.0%	1	100.0%	21	34.4%
4	あまり良くない	5	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.2%
5	良くない	5	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.2%
6	わからない	7	14.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	11.5%
回答者数		50	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	61	100.0%
未記入		3		0		5		3	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ-5 ものづくり系学部の案について

ものづくり系学部の案について	主な自由意見
1. 良い + 2. 概ね良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その後の社会での活躍の場や指導者の確保など多岐にわたり課題認識と具体的方策を考えてほしい。</li> <li>・旭川の地域産業の発信につながる。</li> <li>・技術や地域にしっかり定着させることは重要なことと考えます。</li> <li>・東海大旭川校を復活してほしい。</li> <li>・ものづくり系の企業がこういった学生を求めているのか、どういう人材が不足しているのか PR していただく機会があると良いと感じます。</li> <li>・別紙のイメージや、人材育成像を見ると、“ものづくり”ということばとのギャップがある。検討されている内容には賛成するためです。</li> <li>・公立大である以上、地元の要請に応える学部、学科が必要。</li> </ul>
3. どちらとも言えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学校ではなく大学で学ぶ意味をどこまで見いだせるかが課題</li> <li>・他大学との競争、他国との競争に勝てる学部になれる（勝算がある？）のかがポイントです。</li> <li>・名前からして何を具体的にやるのかわからない。さらにものを造る職人養成を目指しているように感じる。もしそうならば大学にする必要はなく専門学校で十分である。大学にする以上ものづくりに関する研究機関である必要があり、それにはネーミングセンスがかなり必要と思われる。あくまで大学は研究機関であり、ものづくりに関する人材育成が主たる目的なのであれば専門学校が良い</li> <li>・主旨は理解できるが、若者にニーズがあるか疑問。</li> <li>・東海大の二番煎じ？同じようなスタイルか？今あるものをどうするか、今あるものを生かすもいいが、30年先、50年先の世の中を見据え、そのとき旭川をどんなまちにしたいのか、という長期的ビジョンも大事と考えます。道外の人意見～おかげはちもく～の視点を参考にすべき</li> <li>・新学部設立にあたり、十分な教員の確保がみこまれるか不安。それが目処がたっているのであれば、良い案だと考える。</li> </ul>
4. あまり良くない + 5. 良くない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな発想で、ものごとを創造することができる特色ある学部」よりも、既存の学部（学群）から、特色ある学科、コースという方法の方が多様性に富み魅力を感じる。</li> <li>・具体性があまりなく結局何を学ぶ学部なのは今ひとつわからない。</li> <li>・学部イメージがあまり伝わってこない。入学者が集まる見込みはあるのか？リサーチはきちんとしているのか？ニーズはあっているのか？</li> <li>・学習内容が多岐にわたっており学部の目標がぼやけそう。</li> <li>・学生のニーズに対応している感じがしないので、募集に不安を感じる。また、市の財政面で余裕はないのでは？</li> <li>・受験生のニーズに合っているか疑問はある。他大学にない学部や安定的に学生の集まる学部があると良い。</li> <li>・高校生の需要がない。企業側も求めてはいないと思う。</li> </ul>

ものづくり系学部の案について	主な自由意見
4. あまり良くない + 5. 良くない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この学部が将来どういう形で旭川や北海道を支えるのか不明。</li> <li>・この系統を志望する学生は全国的に見ても少数派。学生が集まるとは思えない。独自性を求めると学生は集まらない、他と同様の学部では埋もれてしまう。いずれにしても今の時代に公立化はメリットが見当たらない。</li> <li>・どんな学部学科となり、どんな人材育成を目指すのか不明。東海大旭川校に人が集まらなかった二の舞になるのではないか。</li> </ul>
6. わからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に、どのような授業として行うのかイメージがわからないから（高等技術専門学校の発展形？）</li> <li>・家具のまちではあるが、大学としての教育の必要性があるかはわからないから</li> <li>・かつて東海大に同じような学部が存在したが、地元との関わりや必要性が薄く、結局消滅してしまった。その二の舞にならないよう十分考える必要がある。</li> </ul>

## 7 意見等

Q 8 旭川大学をベースにした公立大学の設置などについて、御意見がありましたら記入してください。

### 主な自由意見

#### 【検討状況に関すること】

- ・ぜひ、旭川・道北地区をより一層活性化させるための起爆剤としてほしい。経済向上の一つとなることを期待する。
- ・全国的な傾向として公立化した大学には、公立化以前より優秀な学生が多く集まるということがありますので、道北の中心都市である旭川という地域性を考えれば、例えば、名寄や釧路などを十分しのぐ大学になり得ると思います。市にとって、一時的な財政支出を補って余りあるメリットがあると考えています。
- ・全国的に見ても多くの私大が、現在、公立化を目指しており、規制が厳しくなる前に旭大も公立化への移行を急いで進めてほしい。
- ・道北圏は経済的に苦しい家が数多くあり、それが理由で進学をあきらめたり、進学先が限定されたりしている生徒が数多くいる。それらの生徒の受け皿となりつつ、名寄と競合しない形で、公立大ができることは良いと思う。
- ・親元から通える大学が一番、現在の親の考えに合っている。親が子に行かせたい大学、子が行きたい大学というのが地元にあるのはとてもいいこと。その条件は、経済的負担が少ない、地元で就職できる、地元でいながら広い視野が養えるということ。魅力的なら全国から学生が集まり、全国から集まるとレベルが上がり、地元の高校生ももっと勉強するようになる。そんな大学でなければなくてもいいと考える。
- ・日本全国から旭川に魅力を感じた学生が集まり、市の行事などに積極的に参加する。田舎にあるため大企業でのインターンシップがしにくい状況になる。学生任せではなく、大学自体もインターンシップできる企業を開拓して欲しい。
- ・地元の高校生が通い、地元で活躍できる人材を育成できる大学にして欲しい。公立化により入試の難易度が上昇してしまい地元に通える大学がなくなる高校生が増えることを心配している。何らかの対策をした上で公立化して欲しい。大学を運営するにあたりノウハウを持つ旭川大学がベースになることは普通。
- ・北海道には北大以外の総合大学がなく、特に文系や文理融合型といった学部は不足していて道外へ流出せざるを得ない状況にあります。旭川医大や教育大旭川校と連携し、市全体で総合大学と言えるものになるようになると良いと考えます。(理系は千歳も公立化し、北見・室蘭を考えると別の切り口が必要ではないか)
- ・国立大（旭医大・旭教大）と肩を並べるつもりはあるか？単科大学と連携、補完しあう関係になれる大学が地元にとって魅力あふれる大学になるのではないだろうか？そのためにも、総合大学になること、魅力的な教育者・研究者を配置することを望みます。

## 主な自由意見

- ・旭川市として打ち出す公立大学の目指す将来像やまちづくりをする上での重要点（学科や特色）が見えてこない。市の税金を使うのであれば市に繋がる大学であることが望ましい。その上で、経営経済、保健福祉の低い市内定着率を抱えたまま公立にして良いのだろうか。
- ・そもそも公立大を設置したからと言って「活気あるまちづくり」ができるかという考えに疑問を感じる。交通網は整備されていない、住みやすいまちづくりにはほど遠い等、「若年層が流出しないまちづくり」をしてこなかったツケが公立大設置で変わると言うことにいささか取って付けた理由にしか感じられない。経営シミュレーションについても黒字となる見通しだが信憑性に欠ける。上手くいかなかったときのツケは市民が払うことになることを肝に銘じ行政が本気になって取り組んでもらいたい。
- ・旭川の将来を担う産業は何か？15年後くらいを考えて大学の方向性を考えるべきかと思います（当然研究が必要ですが）。
- ・設置ありきで議論すべきではなく、少子化の見通し、地域・学生のニーズなどを慎重に分析すべきだと思う。の声を反映して欲しい。

### 【運営に関すること】

- ・赤字になり市の財政負担が生じないよう最大限努力することが前提

### 【学部に関すること】

- ・旭川という地域に根ざした研究や教育、情報発信が可能で、高校生の進路選択に繋がる学部を設置していただければ。
- ・医大周辺の医療系専門学校も巻き込み、医療・福祉系の学部を充実させてほしい。
- ・札幌の学生が集まっている大学の学部学科から学生が流入するような学部の設置が必要
- ・認可される学部学科がポイントだと思います（隣接する地域との関係も条件だったりすると聞いたので）。独自性ならば、観光などの分野もありかと考えます。外国人誘致など。空港もあり、北海道の中心に位置していますし。
- ・現在ある学科をベースに公立化を考えて行く方が良いのではないかと。
- ・北海道立旭川高等技術専門学院との棲み分けも考えるとデザインを学べること、かつ地元に残る人材とすることを考えていただきたい。
- ・ものづくり系学部を設置するなら東海大跡地の方が適当ではないかと。
- ・旭川以北の地域にはない学部学科を是非設置して欲しいが、今までの私大のイメージをどこまで変えられるかが課題。
- ・土地は旭川大学を活用しても良いが、現行の学部学科を引きずってはいけない。
- ・名寄市立大学と重なる学部学科が多い中で、どう差異を図り、魅力ある大学づくりをして学生を集めるのか、難しいと思う。もし薬学部ができれば、高倍率で学生は集まると思う。また、旭川という地域柄、医療系のニーズは高い。
- ・現存する学部・学科とものづくり系をどう調整するのか、ミスマッチがおこりそうだ。

### 主な自由意見

- ・学部のイメージから学部学科を考えたとき、工学部家具学科とかの方が何をやるのかわかりやすい。そこでは家具をつくるための研究がなされていて、素材やデザイン、木を切ったり削ったりする道具に関する研究をしていますといった方がよほどわかりやすい。また、森を保全したりするために農学や環境学などが必要で、それらの学部があつたりすると学部間の横のつながりが見えて良い。今のままでは無理矢理感が大きくて、何をどうしたいのかがわからない。
- ・要するに現在の旭川大学が設置する学部学科に「デザイン」学科を付け焼き刃的に付け足すだけの変更になるような印象を受ける。抜本的な改編・改革を公立化に向けてする気がないように感じる。

#### 【大学の環境に関すること】

- ・校舎やキャンパスの雰囲気も受験決定の大きな要素になる。ものづくりを主体としたいのなら、それに合わせた魅力あるキャンパス作りが必要である。
- ・高校生は、道外のオープンキャンパスに行つて、まず立地条件を最優先に見る。次に校舎やキャンパスの雰囲気、そして学生の様子を見て主観的に受験したいかどうかを決定する。学部を増やして旭川の大きな大学づくりを目指すのなら旭川大学ベースで良いと思う。ただし、魅力的なキャンパスにするためには大きな変革が必要となり、多額の費用が必要になる。また、短期大学部の中の必要な学科は学部へと転換した方が良い。他の大学の開学時には、担当者が何度も多くの高校へ足を運び、高校からの要望を聞きながら準備を進めていったのを覚えている。旭川から全国へ優秀な卒業生を出し、それによって全国から優秀な高校生が集まる環境にするためにも、市内だけではなく市外、道外の高校生や進路担当者の声を集めてはどうか。市内や地域の高校生だけを集めるのでは優秀な学生は育たないと思う。